私たちが進める 0～100歳の 地域包括ケア

私たちが進める0～100歳の地域包括ケア

目次

i ＿　はじめに

Ⅰ．私にもチャレンジできる地域活動

ii ＿　①居場所づくり

iii ＿　②生活支援

Ⅱ．地域活動を始めるために

iv ＿　①活動が生まれるきっかけを知る・先進事例に学ぶ

v ＿　②活動を応援してくれる専門家たちと出会う

Ⅲ．「ちた型地域包括ケア＝０～１００歳の地域包括ケア」のまちの全体像
半田岩滑地区の事例から

平成 27 年 3 月 7 日発行

発　行　者　特定非営利活動法人　地域福祉サポートちた
〒 478-0047　愛知県知多市緑町 12-1　知多市市民活動センター 1 階
電話番号　0562-33- 1631　　E-mail　spchita@ams.odn.ne.jp

執　筆　者　岡本一美、伊東かおり
構成・イラスト　川合里美、山本彩乃
監　　修　原田正樹　日本福祉大学　社会福祉学部教授

本冊子は、平成 26 年度公益信託 愛・地球博開催地域社会貢献活動基金の助成を受けて作成しています。

はじめに

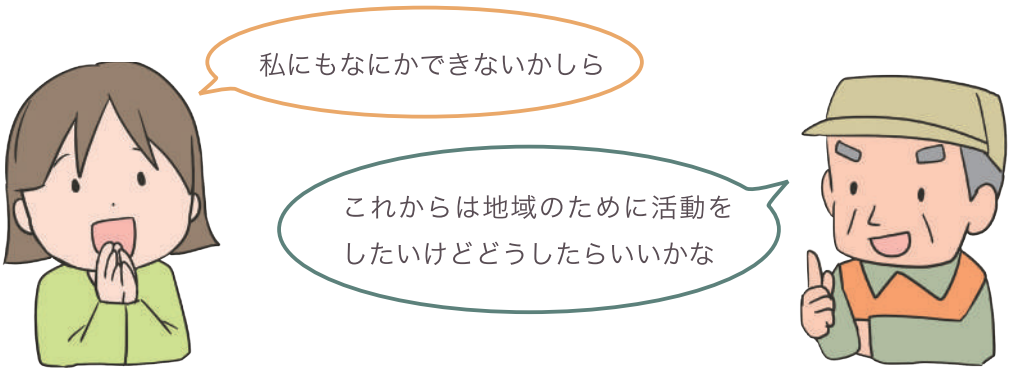
～まちづくりの担い手は誰なのか～

高度経済成長は遥か昔。私たちは今、人口減少超高齢少子化という大きな課題を抱えた社会の中で暮らしています。これまでは、私たちの住む地域で問題が起こった時、私たちは問題を市役所の人や、議員さんや、偉い先生や…といった人が「解決してくれるだろう」と思ってきました。

しかし、もはやそれでは立ち行かない時代になっています。地域や社会の問題は、私たち一人ひとりが自分の問題として捉え、取り組んでいかなくては、誰にとっても「安全・安心」な暮らしを実現することはできません。このまちのことを一番よく知っているのは、他でもない、このまちに住む「わたしたち」です。このまちを、どんなまちにしていきたいかを決め、これからのまちをつくっていく行動を起こすのは、まちに暮らす「ふつうの人」である、私たちです。

あらゆる人に居場所があり、役立ち感を得られる地域を目指して、すでに自分たちで新たな取り組みを始めた先輩が地域に多く存在しています。この冊子では、20年以上前から地域に住むふつうの人たちが「自分たちの力で、自分たちの住む地域に必要なものを作っていこう」と活動をしてきた愛知県知多地域での活動を例に、これからのまちづくりのヒントを紹介しています。

「私たちも何かできないかな」とこの冊子を手にとってくださったあなたにも、きっとできることがあるはずです。まずはあなたの想いを共有できる仲間を見つけ、語り合ってみてください。たとえ支えられる側になったとしても、安心して暮らせるまちであってほしい。そういう一人ひとりの思いと行動の積み重ねで、まちは必ず変わってきます。あなたも担い手の一人になってみませんか。



Ⅰ．私にもチャレンジできる地域活動

写真：南粕谷ハウス

1 居場所づくり

知多地域で始まったたすけあい活動は「地域の居場所づくり」を実践してきました。

これは、

❶ いつでも誰でも気軽に寄ることができる
❷ お茶を飲み、世間話ができる
❸ 運営者にも利用者にもなることができる

という３つの機能が特徴のコミュニティ・カフェです。

独居高齢者のひきこもり防止や介護予防、生きがいづくりにもつながります。

このような居場所に、高齢者だけでなく、障害のある人も子育て中の女性や男性、放課後の子どもたちも集まるようになれば、多世代で支え合う地域の交流の場になると共に、住民にとって気軽に何でも相談しあえる「総合相談窓口」になっていきます。

知多地域では、下記のような**常設型の地域の居場所**を展開しています。

・大府市：ＮＰＯ法人はっぴいわん大府の４つの居場所
・半田市：ＮＰＯ法人りんりんの「りんりん茶屋」
・常滑市：ＮＰＯ法人あかりの「街かどサロンきらり」
・知多市：南粕谷コミュニティの「南粕谷ハウス」
・知多市：つつじが丘３丁目町内会の「つつじが丘３ハウス」
・半田市：岩滑地区の「やなべふれあいセンター」など４箇所の地域ふれあい施設

こんな場所があるのね。
私にもできるかしら。

Ⅰ．私にもチャレンジできる地域活動

2 生活支援

かつてNPOが始めた生活支援の有償ボランティア「たすけあい活動」が、現在では地縁型組織の中でも「おたすけ隊」などの名称でグループ運営されるようになっています。

有償ボランティア「たすけあい活動」

仕組み	ボランティアによる生活支援サービス提供に対し、謝礼金を支払う
活動内容	ゴミ出し、電球の取替え、庭の草取り、病院への送迎、買い物支援等の簡単な家事援助
謝礼金	提供されるサービスの対価として支払われるものでなく、無償の労力提供に対し「謝意」を表すために支払われる

有償ボランティアは、助けられる側の「無償では申し訳ない」という思いと助ける側の「お金が欲しい訳ではないが、もらえたらうれしい。また続けたい」という、対等性が担保され、活動が継続できるメリットがあります。どんな内容の活動をいくらで行うかは、その地域事情を踏まえて、住民が話し合って納得できる金額を決定することがよいでしょう。また、似たしくみにシルバー人材センターがありますが、もう少し住民が気軽に依頼できる軽度な作業の担い手として期待されています。知多地域の4事例の概要を挙げてみました。なお、これらの担い手は無償で活動しています。

	南粕谷おたすけ会（知多市）	二管ふれあい（知多市）	亀崎思いやり応援隊（半田市）	岩滑お助け隊（半田市）
設立	2007年4月	2014年4月	2012年5月	2013年4月
会員数	62人	15人	56人	37人
対象地域	南粕谷小学校区	つつじヶ丘2丁目町内会	亀崎地区	岩滑小学校区
活動内容	困ったとき気軽に頼め、住民が助け合う（病院送迎、家屋補修、庭木剪定、家財廃棄、PC指導等）	・高齢者、障害者の生活支援（家具移動、電気取替え、大工仕事、通院や買い物送迎、資源回収、PC指導等） ・なごみサロン	・独居高齢世帯または老々世帯の困りごとに対応（家屋補修、庭木剪定、草刈） ・通学路の安全確保 ・買い物便利帳（出前・宅配）	・健康上の都合で出来ない軽作業（側溝清掃、粗大ゴミの処理、戸車交換） ・困りごと相談
利用料	100円/30分 200円/60分	100円/60分 30分超える毎100円を加算	500円/1回 30分～60分	500円/1回

Ⅱ．地域活動を始めるために

1 活動が生まれるきっかけを知る・先進事例に学ぶ

このような、居場所づくりやおたすけ隊の活動など、住民発のたすけあい活動を、小学校区や町内会など小地域ごとに生み出すためにはどうしたらよいでしょうか？前ページの４つのグループが生まれるきっかけを伺いました。

こうやって先進事例に学ぶことはとても大切なことです。仲間と一緒に見学に行ってみましょう。

団体名	設立のきっかけ
南粕谷おたすけ隊	設立者が知多市第三次地域福祉計画策定にかかる住民参加のまちづくり会議に参加した際、改めて自分の住む南粕谷が市内でも群を抜いた高齢化の進む地域であることを知り、かつその場に地域の障がい当事者が参加しており、困っていることを直接耳にしたことから、立ち上げを決意した。
二管ふれあい	福祉 NPO 法人の４代目代表理事を務めた設立者が、代表交代後に自分の居住区で老人会役員に声を掛け、仲間づくりを経て設立。NPO でのたすけあい活動・団体運営経験が地域で生かされている。
亀崎思いやり応援隊	半田市と社会福祉協議会が主催する「ふくし井戸端会議」（地域の困りごとを把握し、その解決方法を地域住民、行政などの関係機関と話し合う場）で、地元のスーパーが閉店したことをきっかけに、支援の必要な方を対象として、半年の準備期間を経て設立。
やなべお助け隊	日本生命財団助成を受け、コミュニティ、福祉 NPO 法人、社会福祉協議会が共同し「防災から安住のまちづくり」事業を推進、全世帯アンケートやワークショップで「高齢世帯が住みよいまちづくりを」との声を聞き、南粕谷おたすけ会を訪問、参考にしながら設立した。

どうやってみんな始めたのだろう。
よし、仲間と見学に行って話を聞こう！

Ⅱ．地域活動を始めるために

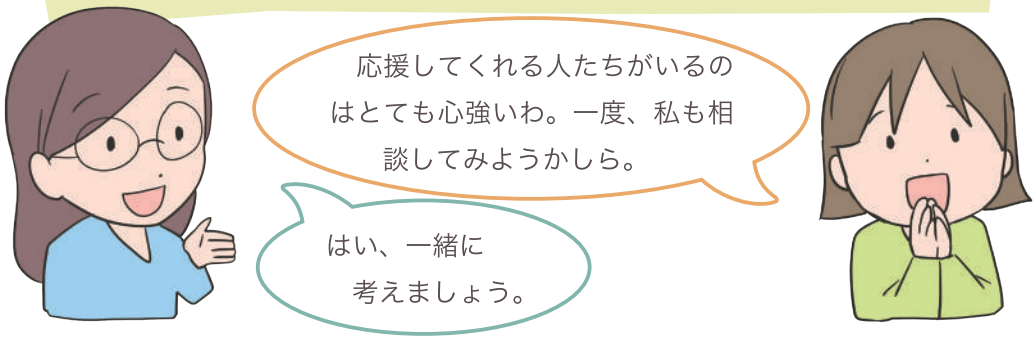
2 活動を応援してくれる専門家たちと出会う

おたすけ隊の生まれるきっかけを見ると、「まちづくり会議」や「ふくし井戸端会議」のような、住民参加のワークショップ（話し合いの場）を企画運営した行政や社会福祉協議会、福祉 NPO 法人関係者の存在が共通しています。

今後、小地域における居場所や生活支援サービスの担い手はますます必要となります。そのために、活動をサポートし、継続できるように団体立ち上げを応援してくれる人たち（コーディネート機関）の存在も重要となってきます。

活動を応援してくれる専門機関（コーディネート機関）

機関名	期待される機能
福祉 NPO 法人 中間支援 NPO 法人 社会福祉法人（施設） 地域包括支援センター 市民活動センター 社会福祉協議会 行政福祉担当課 行政協働担当課	各市町の総合計画、高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画、障害者福祉計画、児童福祉計画、地域福祉計画、住生活基本計画等に基づいた「地域包括ケアのまちづくりビジョン」を明示し、「地域包括ケア推進計画」を作成、住民主体の活動が立ち上がるような①地域課題を共有する場の設定、②立ち上げ・運営支援、③担い手育成、④他団体とのネットワーク化を推進する

さわやか福祉財団では、「新地域支援事業　助け合い活動創出ブック」を 2014 年 9 月に発行、ＨＰ上で公開しています。資源開発の事例やネットワーク化について豊富な情報がまとめられています。

新地域支援事業　助け合い活動創出ブック　で検索